

# 裏磐梯だよい



磐梯朝日国立公園  
裏磐梯ビジターセンター

No.39  
2009/11月

季節の一枚 ④

「初冬の秋元湖」

冷たい雨が降っていたこの日。10月には赤や橙で色鮮やかだった山の木々も葉を落とし、景色はすっかりモノトーンになっていました。

この場所から東(写真奥)へ約5キロの奥行きを持つ秋元湖。秋元原と呼ばれていたこの場所は、1888年(明治21年)の磐梯山噴火による土石流で大量の土石に覆われました。中津川や大倉川がせき止められたことにより無数の水溜りができ、それらが徐々に合わさって大きな沼となり、同じ年の10月頃には秋元湖の原型ができていたといわれています。

現在は、上流の小野川湖、下流の長瀬川との落差を使った水力発電に利用されています。

晩秋から初冬にかけてはマガモやキンクロハジロなどの水鳥が飛来して羽を休める姿が見られ、厳冬期には全面結氷して一面の雪原になります。

(撮影:2009年11月15日)

20 年 月 日  
来館記念スタンプをどうぞ

## ■ 冬支度と冬の暮らし ■

暦の上ではもう冬、皆さんは冬支度をしていますか？この秋、裏磐梯では11月3日に初雪が降り、山々はすでに白くなっています。

さて、冬支度というところのどのようなことを思い浮かべますか？雪の降らない地域では、「暖房器具やコートを準備する」くらいかもしれません。しかし、雪が降る裏磐梯ではしっかりした冬支度が必要です。着る物や暖房はもちろん、雪囲い、庭木の雪対策、車のタイヤ交換、雪かきグッズや雪遊びの用意などなど。



初雪が降る11月には、自動車道路も冬支度をします。除雪の障害物を減らすため、車道と歩道を区切るポール（ガードレールのようなもの）が取り外され、代わりに赤白縞のポールがずらりと並びます。これらは、積雪や吹雪で道路の位置がわからなくなならないよう道幅を、また、圧雪に覆われた路面に隠れてしまう停止線の位置を示す、冬の交通に欠かせないものです。

やがて本格的に雪が積もり、大きな除雪車が道路を走り回る頃になると、私たちの暮らしも変わります。朝、早起きをして出かける前にまず雪かき。一晩のうちに数十センチも積もった雪を下ろして車を掘り出すのもひと仕事です。夏は15分で行かれる場所でも雪道は慎重に運転しなければいけないので30分の予定で出発。路線バスも夏のタイヤに比べて所要時間が長くなります。あまりにひどい吹雪だと、外出の予定を変更せざるを得ないこともあるほどです。



このように、裏磐梯の冬は天気予報や空模様とにらめっこしながら一日の動きを調整する毎日。人間の力ではどうにも変えられない環境の中で、「冬」という季節を暮らしのあちこちを感じながら過ごします。気候や天気、もっと大きく言えば「自然」と向き合って日々生活しているのです。

皆さんは、どのような冬を過ごし、どのような時に自然の存在を感じますか？

## ■ 裏磐梯を楽しむ催しが開催されました ■

10月18日(日)「裏磐梯エコツアーフェスタ2009」



今年もブース出店しました！



桧原湖周辺が紅葉の見頃を迎えた10月18日(日)。

今年の「裏磐梯エコツアーフェスタ」は裏磐梯観光協会のお客さま感謝デーと同時開催され、例年を上回る人数のお客さまで賑わいました。裏磐梯のあちこちでトレッキングやカヌー、伝統工芸の絵付けなど様々な体験メニューが開催され、メイン会場では地元の農産物の販売、クラフト体験など沢山のテントが並びました。

ビジターセンターブースでは問い合わせの多い「紅葉のおすすめコース」を紹介。その他「裏磐梯ずかん」の展示や「空とぶタネ」のイベントを開催しました。中でも一番の人気者はツキノワグマ。今年は立ち姿で子ども達と背比べをしていました。このグマは現在ビジターセンターで活躍中です！（探してみてくださいね）



環境省裏磐梯自然保護官事務所主催

10月24日(土)

「裏磐梯紅葉ハイキング」



全国・自然歩道を歩こう月間(10月)に合わせて、裏磐梯自然保護官事務所では10月24日(土)に「裏磐梯紅葉ハイキング」を開催しました。

今回は県内各地から11名の方々の参加があり、パークボランティアの皆さんに植物や裏磐梯形成の歴史などの説明をしていただきながら、紅葉に彩られたレンゲ沼や中瀬沼周辺の歩道を2時間程かけて歩き、裏磐梯の自然に親しんでいただきました。

参加された方々は、赤や黄、橙に彩られた木々の葉や、落ち葉を踏みしめる音、鳥の声などにそれぞれ秋を感じ、楽しまれていた様子でした。



「冬になると裏磐梯に渡ってくる 鳥たち」

裏磐梯にも冬鳥が到着し始めました。冬の渡り鳥というとハクチョウやカモの仲間がよく知られていますが、実はそれ以外にも海を越えて渡ってくる鳥たちがいます。

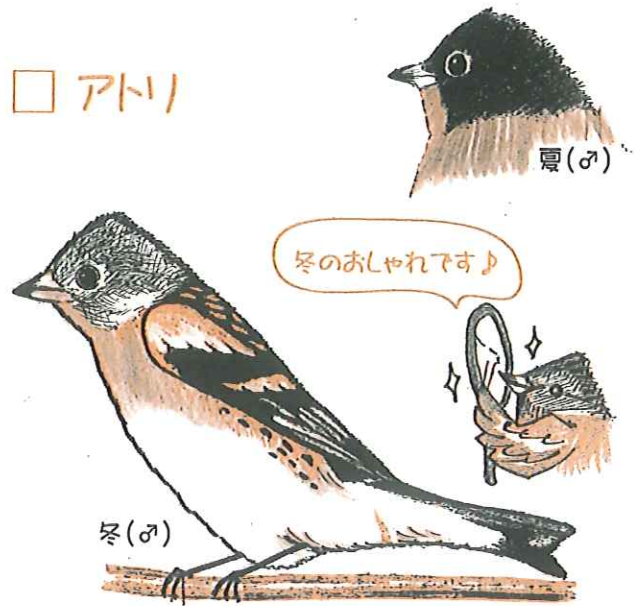
今回は裏磐梯で見られる、冬になると渡ってくる森の鳥たちに注目しましょう。

□ カシラダカ



茶色のちょっと地味な鳥。ホオジロに似ていますが、双眼鏡でよく見てみると頭が寝グセのようになっています。ただし、寝グセをきちんと整えたおしゃれなカシラダカもいるのでじっくり観察が必要です。寝グセを立てる瞬間を見逃さないようにしましょう。

□ アトリ



アトリの様子は私たちビジターセンタースタッフの制服とおそろいのかわいい黄色のチョッキ柄、冬は群れで行動します。真冬の頃は白髪頭のはずが、春が近づくと黒々としてきます。日々白髪の増える私とは正反対で羨ましく思います。

□ ツグミ



白い眉とおなかのマダラ模様がつぐミの特徴。遊歩道や畑などでガサガサと落ち葉を撒き散らしながら虫やミミズ等を探している場面に遭遇することがあります。そんなに派手に撒き散らしたら獲物が逃げてしまうのではないかと思いますので…。

□ ジョウビタキ



冬に『ヒッ、ヒッ』と“ク〇556”が必要な扉のような鳴き声をきいたらきっとジョウビタキです。ジョウビタキは群れにならずに単独行動、オスもメスもそれぞれの縄張りを作ります。オスの頭は白髪まじり、オスのほうが苦勞しているのでしょうか… ちょっとだけ親近感を覚えます。

# 冬の裏磐梯 探鳥マップ

葉が落ち、森の中がよく見えるようになる冬。  
遠くからやってきた冬鳥が食べ物を探して飛び回っています。  
真っ白な森の中へ鳥を探しに出かけてみませんか？



※このマークのあるところが観察しやすいスポットです

## ご注意ください！！

冬の裏磐梯は自動車道路も探勝路も夏とはすっかり様変わりしています。  
車も人も雪道に対応出来る装備をしっかりとってお出かけください。

ここに掲載している鳥はほんの一部です  
参考：裏磐梯エコツー協会発行「裏磐梯鳥ごよみ」



水鳥は、水面が凍ってしまうと餌を探して一時的に猪苗代や郡山まで行くこともあります

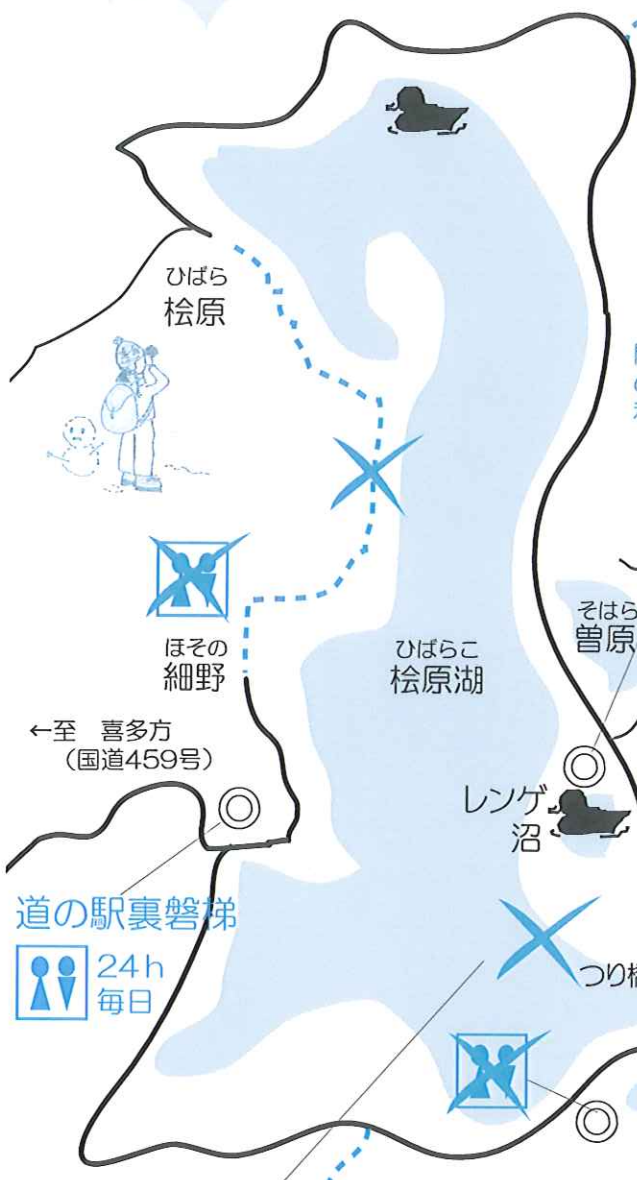
## 裏磐梯サイトステーション

9:00 ~ 4:00 入館無料  
休/水曜、12月29日~1月3日  
最寄りのバス停「休暇村裏磐梯」

チップ制  
開館時間内のみトイレ  
利用可能



自然情報を提供しています  
館内での休憩、飲食(持ち込み)可能  
(0241-32-2411)



公共トイレ 24h 毎日

道の駅裏磐梯 24h 毎日

松原湖畔探勝路は、冬期間  
つり橋の板をはすすため  
通行できません

冬期閉鎖になるもの  
公共トイレのある施設

裏磐梯観光総合案内所  
対応時間/9:30 ~ 5:00

毎日  
対応時間内のみ  
トイレ利用可能  
裏磐梯観光協会が  
宿泊施設のご案内をしています  
(0241-32-2349)  
最寄りのバス停「小野川湖入口」

裏磐梯  
ビジターセンター

24h 毎日  
隣接の  
公共トイレ  
9:00 ~ 4:00 入館無料  
休/火曜、12月29日~1月3日  
最寄りのバス停「五色沼入口」

冬のイベントを開催予定  
あそびにきてね!

# 日本の国立公園

国立公園で働く方にその公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 29 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園です。



## だいせつざん 「大雪山国立公園」(北海道)

昭和 9 年12月4日指定  
面積 226,764ha

【環境省上士幌自然保護官事務所 自然保護官 山北育実さん】

大雪山国立公園は北海道の中央部に位置し、面積約 23 万 ha を有する、日本最大の国立公園です。北海道の最高峰「旭岳」を有する大雪山連峰、活火山の十勝岳を主峰とする十勝岳連峰、然別(しかりべつ)湖周辺の然別火山群及び日高系の古成層からなる石狩岳連峰を有するように、大部分が山岳地帯となっており、手つかずの自然も多く残っています。



標高は 2,000m 程度ですが、緯度が高いため、本州の 3,000m 級のような高山環境を持つことから、公園内の各地に滝や渓谷、雪渓などが見られます。また、ヒグマやエゾシカなどの大型動物から、シマフクロウやタンチョウなどの希少野生動物、ダイセツタカネヒカゲ等の高山蝶も生息しています。雄大な自然の中で、温泉にゆったりつかっていると、「ボボ。ウー。」と、どこからか聞き慣れない生物の音が静かな闇の中に響きわたります。日本最大のフクロウで知られるシマフクロウの鳴き交わしです。大雪山国立公園では氷河期の生き残りである

ナキウサギなどに出会える機会も多く、人と自然との共生を強く感じます。

(写真 上:東雲湖、下:旭岳)

## ようこそ！ビジターセンターへ

ビジターセンターの見どころを紹介します

### 企画展 「日本の国立公園」



日本各地の国立公園でお仕事をしている方々から、各公園を自慢するメッセージをいただいて開催しているこの企画展。北海道から沖縄、海の中から標高 3,776m の山頂まで、日本のいいところがぎっしり！また、ビジターセンターや環境省レンジャーの日々のお仕事も垣間見ることができます。

ご覧になるお客様は「裏磐梯は国立公園なんだって！知らなかったね」「釧路湿原に行ってみよう」「雲仙はツツジも紅葉も霧氷も四季折々に素晴らしかったよ」と、各地のパネルを指差しながら思い出話にも花が咲いています。

ビジターセンターなどが発行している機関紙や案内資料も展示しています。次に出かけたい国立公園がきっと見つかります！



### 企画展記念講演会「国立公園へ出かけよう！」 ～ビジターセンタースタッフに訊く国立公園の魅力～



11月14日(土)、福島県内にある浄土平、尾瀬沼のビジターセンターからゲストを招き、磐梯朝日国立公園、尾瀬

国立公園各エリアの魅力を紹介していただきました。「尾瀬沼の夕焼けはめったに見られない」「浄土平からの綺麗な夜景は、2000m級の山と街がすぐそばにあることを感じる」「こちらのニッコウキスゲ群落も素晴らしい」など、現地にいる方ならではの話を伺いました。また、国立公園を安全に楽しむために欠かせない裏方のお仕事の紹介もチャリ。「場所ごとの魅力、場所ごとの取組が違うことを知った」「尾瀬に行ってみよう」などのご感想もあり、興味をもっていただけましたよう

次はフィールドでお会いしましょう！



## ■ お知らせ ■

### 冬期閉鎖の道路・施設などについて

冬の裏磐梯は1mを超える積雪があります。自然探勝路は除雪されませんので、スニーカー等では散策できません。装備を整えてお出かけください。

#### □ 冬期閉鎖の自動車道路

- ・磐梯山ゴールドライン
- ・磐梯吾妻レークライン
- ・磐梯吾妻スカイライン
- ・松原湖周遊(細野～松原)
- ・県道 米沢～猪苗代線(旧スカイバレー)

#### □ 冬季の車の走行について

上記以外の自動車道路は除雪されていますが、タイヤチェーン等の滑り止めが必要です

#### □ 松原湖畔探勝路

積雪に備えて吊橋を外すため、冬期通行不可です(11月下旬から4月下旬まで)

#### □ 傘持トイ

冬期閉鎖されるものがあります(4頁の地図参照)



各イベントについて、お申込み方法など詳細は、12月中旬より「裏磐梯ビジターセンターホームページ」に掲載します。

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催プログラム



### 五色沼わくわく散歩

雪の積もる毘沙門沼周辺をスノーシューを履いて散歩。雪景色の毘沙門沼、羽を休める水鳥たち、静寂の森、どれをとっても他の季節には感じることでないものばかり。冬の森を楽しんでみませんか。



開催日時/1月10日～3月28日の  
毎週日曜日と祝祭日  
午前10:00～11:30

参加費/お一人400円

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催プログラム



### 冬の館内イベント



開催日時/12月23日～1月31日の毎日

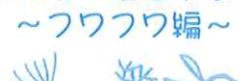
①10:30～ ②13:00～ (各回約30分間)

参加費/お一人100円

お申込み/当日ビジターセンター館内にて受付

◆雪の結晶を作ろう

◆空飛ぶ種を作ろう



冬の裏磐梯と言えば雪！  
このプログラムでは、楽しい  
工作で雪の結晶のヒミツ  
がわかります。

フワフワと飛ぶ種の模  
型を作りながら、種の旅  
の不思議がわかります。

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催プログラム

平成22年1月24日(日) 1:00～3:30  
講演会「地域に根ざしたエコツーリズム」

～田尻地区の場合～

会場/裏磐梯ビジターセンターレクチャールーム

講師/遠藤立氏

(日本生態系協会ランドデザイン総合研究所副所長)

参加費/無料

◆田尻地区とは…宮城県大崎市。

ラムサール条約湿地の蕪栗沼や  
周辺の水田を、雁のための「ふゆ  
みずたんぼ」にするなど自然を守り活かすエコツ  
ーリズム活動を地域ぐるみで行っている。



### 「裏磐梯だより」定期購読

年6回発行の「裏磐梯だより」の定期購読をご希望の  
方は、ご住所・お名前を明記の上、80円切手6枚(1年間  
の送付に使用します)を同封して

「裏磐梯ビジターセンターだより係」

までお申込みください。隔月で送付いたします。



### ■ □ ■ ビジターセンターの窓から □ ■ □



◆すっかり葉っぱも落ちて、もうすぐスノーシーズンです。今年はいつ頃雪が積もるのでしょうか？(いが)

◆さー本格的に雪のシーズンですよ。あれもこれも準備して。あぁタイヤ交換してない!!(みの)

◆冬用タイヤに交換して、雪への準備を進めています。初めての雪国生活、楽しみです！(かんの)

◆冬が近づきカメムシが今年も我が家にやってきました。いったいどこから入ってくるの!!! (かな)

◆建物の雪囲い完了。外の光が遮られ「暗くなった～」  
と言いつつ妙に落ち着くこの感じは…冬眠気分？(こ)

【2009年11月21日のビジターセンター】

### 磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間 ◆夏季(4月～11月)  
午前9:00～午後5:00(入館は4:30まで)

◆冬季(12月～翌3月)  
午前9:00～午後4:00(入館は3:30まで)

休館日 毎週火曜日・年末年始  
(火曜祝日の場合は翌日)

入館料 無料

冬は、開館時間  
が変わります



〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093-697

tel 0241-32-2850 fax 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp/>